

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

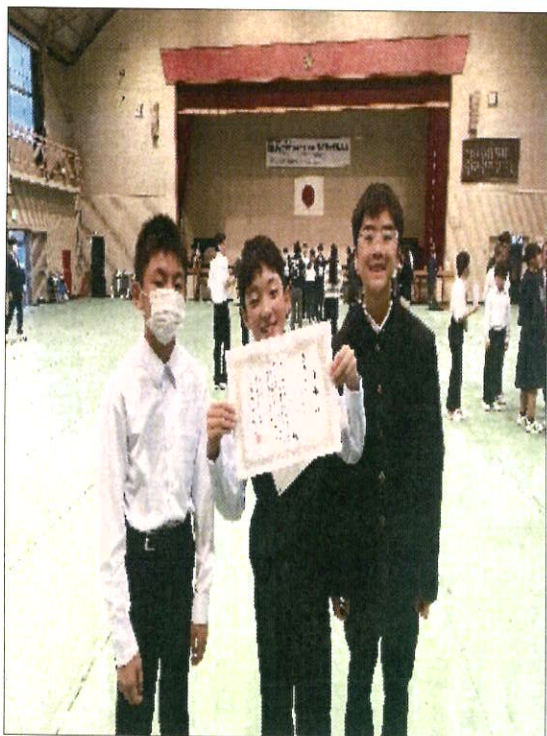
「ギフト」を届けよう

皆さんは、「中村 哲」という人を知っていますか？アフガニスタンという国で、人道支援に尽くした人です。アフガニスタンは長く戦争が続いて国土が荒れ、加えて干ばつによって、人々の生活は困窮を極めていました。

そのアフガニスタンで人々の治療にあたっていました。その中で、アフガニスタンの人々を救うためには、治療よりも水と食料が必要だと考えるようになりました。そして、砂漠化した土地に緑を取り戻すために1600本もの井戸を掘り、65万人の命

を支える用水路を建設しました。

それは苦難の連続でしたが、人々の生活の根幹となる農業を復活させ、その土地には、家族が温かな食卓を囲む、人間らしい暮らしが戻ってきました。



ロボコン 3位入賞おめでとう

「平和には戦争以上の力がある」

中村さんが残した言葉です。

中村さんは2019年12月に、心ない人の凶弾に撃たれなくなりま

した。しかし、その志は中村さんの生き方に感銘を受けた多くの人々に受け継がれ、アフガニスタンの復興に向けて、活動は続いています。私は、皆さんにもこの中村さんの生き方に学んでほしいと思っています。

そこで今日は皆さんに私から「ギフト」という言葉を贈りたいと思います。

「ギフト」という言葉には、「贈り物」という意味の他に、もう一つ、「天賦の才能」という意味があります。

皆さんの多くはいずれ高校に進学し、その先、自分の希望する職業に就いて、社会で活躍する自分を思い描いていると思い

ます。

さて、社会で働くその目的は何でしょうか。それは、単に収入を得て自分の生活を支えるためにだけあるものではありません。その究極の目的は、自分と与えられた才能「ギフト」を発揮して努力し、その成果を社会やふるさとに「贈り物」として届けることにあるのだと私は思っています。

中村さんはアフガニスタンを平和を！という信念に基づき、自らに与えられた「ギフト」である才能を命の限り発揮して尽力し、アフガニスタンの人々に戦争以上の力をもつ平和という究極の「贈り物」を届けたのです。

皆さん一人一人には、誰にも負けない素敵な「ギフト」が必ず備わっています。

みなさんが、その「ギフト」を存分に発揮し、その成果を素敵な「贈り物」として社会に届け、貢献できるたくましい若者へと成長していくことを願っています。

創造タイプロボットコンテスト大会 3日

「君1年1組」

君(1年3組)：君(1年4組)の3人で力を合わせて頑張り抜いて見事3位に入賞することができました。

3人は、12月14日(土)15日(日)に熊本県で開かれる九州大会に出場します。頑張ってください。みんな応援しよう。

1年4組

ロボコンに出場して僕は、僕達のチームは作戦を立てて全力を出して頑張りました。でも、相手も作戦を立てて全力で取り組んでいたもので、手強い相手にも通用していたので嬉しかったです。九州大会に向けて作戦を練り直したり、少し改良して目標達成に向けて更に練習を頑張ります。

他校のチームですごくいいと思ったのが、僕達が準決勝戦で負けた準優勝の五島市立岐宿中学校です。その学校のロボットが、ボールをのせるスポットにほぼ必ず8個ののるというものでした。一度に8個のせるためには、技術

とアイデアが必要です。

操縦がとても上手だったのが、九州大会でも再び戦うことになったら、今度こそ勝てるように練習を続けたいです。

1年3組

今回のロボコン大会を通して学んだことは、たくさんさんの練習の積み重ねと、仲間との信頼関係や協力が大切だということです。

期間中の昼休みはほぼ毎日練習があり、休日も製作や練習で大変でした。でも練習するうちにとれるボールが増えていき、上達を実感できました。また、チームメンバー同士の関係ができてきて、みんな楽しく活動することができました。大会当日は他のチームと対戦し、操作する人の技術力の高さやロボットの性能などで、たくさんさんの刺激をもらえたことで、もっと頑張りたいと思いました。

九州大会では更にロボットを改良したり、操作の技術を高めてよい結果を残せるように頑張ります。

受験校決定は進路決定ではない



3年生は三者面談も一応終わり、君達は全て「希望進路」を決定したわけですね。受験(受検)校が決定した人は、これからが大変なとき。この時期になつてこそ、つまり、目標がはつきりと具体化されてこそ取り組める課題がたくさんあるはず。例えば、その学校の過去何年かの入試問題や面接質問をしっかりと研究して、頻出度の高い内容については、教科書・参考書・キウビンで再復習しておく等です。全く同じ問題や質問が出るわけではありませんが、出題傾向は、比較的パターン化されているものです。しかし、それなのに例年、この時期になると、何を勘違いするのか、「受験(受検)校」を決めただけなのに、一安心してしまつて、まるで合格したような気分になつてしまい、勉強の努力を怠る人が出てきます。たとえ「専願」「推薦」「受験者」であっても、無試験入学ではありません。

勝負はこれからです。ま

た、三者面談で「こころ可能性が大きい」と言われたところも、それは君自身が「後●週間 本気で取り組むならば」という仮定の話です。

さあ、君の目標に向かって、悔いのない取組をしていこう。努力する姿こそが、桜の誇り、「桜の誇り」になろう。

今からでも今からでも

「人生はマラソンのようなものだ」といわれます。マラソンのように長く、苦しいのが人生だという意味なのでしょう。でも、人生はマラソンのように折り返し地点があつて、そこからまたやり直すことができるというわけではあります。

実際は、長い100km競争のようなもので、ゴールに着いたらもう終わり。もう一度折り返してやり直すことなんてできない。「まだ時間がある」「まだ余裕がある」と思っている、時間はすぐに

やつてきて、あつという間に過ぎ去っていくものなのです。

さて、時間だけは、全ての人に平等に与えられていますが、成功する人と、成功しない人では、時間に対する考え方が違うようです。

例えば、あなたが何かを計画したとします。その時に、「今からではもう遅い」と考えるか、「今からでもまだ間に合う」と考えるかで時間の使い方や生き方も大きく異なります。

「今からでは」と考える」と「時間を有効に使う」と

という気持ちになり、積極的に生きようと思うはず。たつた一字の違いですが、どのように考えるかで大きく違ってくる。

それは、希望をもつか、希望を捨てるかということと同じ。「今からでも」と考える人は、時間を有意義に使い、計画的に生活することが出来ます。「今からでは」と考える人は、時間を自分のものにすることはできません。英語が苦手、数学が苦手と考えるだけで、何もしていないでいると、それは自分の可能性を捨てている

ことと同じ。

「今更やっつた」と何もしないか、「今からでもやってみるか」と考えるかで人生は大きく変わります。

私達は幸せになるために生まれてきました。誰も好んで不幸になりたいと思ひ、生まれてきたのではありません。

しかし、幸せになれるかどうかは、自分の考え次第。

あなたは、「今からでも」と考えますか、「今からでは」と考えますか。

お知らせ 1年生の保護者の皆様へ

10月より学習を進めてきた地域学習の発表会を下記の通り行います。

クラスを6コースに分け、11月には地域に実際に出向き、フィールドワークを通して、地域の歴史や文化・素晴らしさについて学びを深めてきました。

お時間のある方は、ぜひ、ご参観ください。

期 日 11月19日(火)14:15~15:05

場 所 各教室

内 容: #SAKULOVERS~さくらをさるく~

ふるさと桜馬場の人やまちを知り、自分のまちに誇りをもって、自信をもって語れるようになる

Aコース 我々が桜中 ご近所さんの歴史を訪ね隊

Bコース: 桜馬場の平和を継ぎ隊

Cコース: 長崎の龍馬の足跡辿り隊

Dコース: 長崎の表玄関・中島川を知り隊

Eコース: ながさきもってこーい!

お諏訪さんを知り隊

Fコース: 和と華と蘭の融合を伝え隊

※各クラスを6コースに絵開けてそれぞれが調べたことを各教室で発表します。

生徒会役員改選立候補者一覧

選挙運動 11月25日(月)~11月28日(木)朝
朝: 7時40分~8時00分 風休み
立会演説会と投票 11月28日(木)5・6校時



1年生フィールドワークの一コマ